

目的 マルチメディアが今後社会に定着し進展するかどうかは、マルチメディアが家庭生活の向上に貢献するかどうか、家庭生活のなかで頻度高く利用されるかどうかにより大きく影響されると考えられる。その意味で、「マルチメディアを家政のなかでどう使用するか」「どんなシステムを作成するか」を研究する意義は大きいと考えられる。そこで、手始めに学生に対し、コンピュータのシステム設計を教育し、家政を題材としたコンピュータシステム（マルチメディアを志向した）を作成させることにより、家政におけるマルチメディアの有効利用を考えることができるのではないかと考え、学生の教育を行った。

この発表会では、私が所属する聖徳学園女子短期大学の学生が作成した「家政を題材としたシステム」の紹介を中心とした発表を行う。

方法 BASICを使用し、PC9801で2～3名1グループ単位で1システムを作成させた。

結果 学生は、マルチメディア（音・映像）を使用したシステム、バーチャル・リアリティ（仮想現実感）など私が当初考えていた以上のシステムを作成した。システム作成したことにより、学生が自分能力に対し自信をもったのは非常に良かった。また、それだけではなく、家政におけるマルチメディアの有効利用ということに対する、問題提起（学生・家政を専門にしている教員に対し）にはなったではないかと思われる。